

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

別添資料10

公表:2023年 7月 26日

事業所名 ちゃれんじ元今泉教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0		
	2	職員の配置数は適切である	3	3		配置基準は満たしているが児童が多い日や児童の障害の重さによっては人数が足りないと思う時があり今後の課題である。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	0		事業所がビルの2階にあるがエレベーターがない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	2	提供プログラムや療育の流れ等検証した上でよりよい方向に変更した。	児童の様子に合わせてよりよい支援を提供できるように引き続き行ってきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	HPIに公表している。	店舗公式LINEのメッセージ画面にリンクを貼り、保護者が気軽にHPIにアクセス出来るようにした。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	0		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	毎月の虐待防止研修だけでなく他教室のスタッフと合同で様々な研修を実施した。	今後も継続して行っていきたい。
適切な	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	3	季節に応じたレクリエーション活動や製作活動等を行っている。	子ども達の能力向上の為にあえて固定しているプログラムもある。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0	放課後と休日とでプログラムを分けて行っている。平日は学習活動と小集団での活動・休日は主に余暇活動を組み入れて児童が安心して過ごせるよう配慮している。	

支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	個別で課題を行う時間と小集団でレクリエーションを行う時間で区切り児童が様々な体験を出来るようにしている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	送迎後に各家庭からの申し送り事項を全体で共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	毎日スタッフ同士で担当児童を決め、児童の様子を記録に残している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	6か月に1度モニタリングを実施している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6	0		

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	2	学校へ迎えに行った際にその日の児童の様子や対応方法を共有している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				現状は受け入れの予定はない。該当児童なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	4		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している				現状は該当児童なし
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	6		今後機会があれば行っていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	6		今後機会があれば行っていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	6		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	・送迎時に1日の様子や出来事を報告している。 ・毎回、連絡ノートに療育内容や児童の様子を記入し報告している。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	6			
保護者へ	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	契約時に説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	2		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	6		今後機会があれば行っていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1		

の 説 明 責 任 等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	保護者の同意を得てLITALICOやInstagramに療育内容をアップしている。 また、毎月1回療育時の写真をのせたおたよりを配布している。	
	35	個人情報に十分注意している	6	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	障害のある保護者の方には文書だけでなくスタッフが口頭での説明をしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	6		今後機会があれば行っていきたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	0	契約時に説明している	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	避難訓練や消火訓練など様々な訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	毎月研修を行っている。チェックリストの活用や事例検討会等行い、振り返りと対応方法を共有している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0	「個別支援計画書」に身体拘束についての記載をし、保護者には口頭で説明をしている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている				該当児童なし。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0		